

再評価結果(平成19年度事業継続箇所)

担当課:四国地方整備局都市・住宅整備課

担当課長名:鈴木 武彦

事業名	しほうひのみねせん 芝生日ノ峰線		事業区分	街路	事業主体	徳島県
起終点	自:	とくしまけんこまつしましほりかわちょうあざいりもり 徳島県小松島市堀川町字井理守			延長	0.9km
	至:	とくしまけんこまつしましちゅうでんちょうあざしんがい 徳島県小松島市中田町字新開				
事業概要						
芝生日ノ峰線は、国道55号と重要港湾小松島港や小松島市の中心市街地を結ぶアクセス道路である。事業区間は、旧日赤病院前交差点から県道小松島佐那河内線までの延長898mの区間で、現道拡幅を行い幅員16~17mの街路を整備するものである。						
H9年度 事業化	S48年度 都市計画決定 (H14年度変更)		H10年度 用地着手	H11年度 工事着手		
全体事業費	45億円	事業進捗率	91%	供用済延長	0.34km	
計画交通量	6,700台					
費用対効果 分析結果	B/C	総費用(残事業)/(事業全体) 2/50億円	総便益(残事業)/(事業全体) 55/55億円	基準年		
	(事業全体) 1.1 (残事業) 27.5	事業費: 1.0/49億円 維持管理費: 1.0/1.0億円	走行時間短縮便益: 48/48億円 走行費用減少便益: 5.6/5.6億円 交通事故減少便益: 1.4/1.4億円	平成18年		
感度分析の結果 事業全体について感度分析を実施						
交通量変動: B/C=1.03(交通量 +10%) B/C=1.15(交通量 -10%) 事業費変動: B/C=1.08(事業費 +10%) B/C=1.10(事業費 -10%) 事業期間変動: B/C=1.01(事業期間 +20%) B/C=1.22(事業期間 -20%)						
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> 死傷事故率の高い市街地の交通量を分散(約119件/億台km 県平均の1.3倍) 県都徳島市へのアクセス性が向上 自歩道のバリアフリー化による自転車、歩行者の安全性・利便性が向上 中心市街地の活性化に寄与 						
関係する地方公共団体等の意見						
平成18年5月には、沿線に徳島赤十字病院が移転・開業したことから、周辺地域における自動車交通の円滑化はもとより、自転車や歩行者の安全性・利便性を高めるために、早期供用が望まれている。						
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等						
<ul style="list-style-type: none"> 本路線に接続する都市計画道路 小松島金磯線(小松島市施工)が平成16年度に供用した。 沿線に徳島赤十字病院が移転・開業した。 						
事業の進捗状況						
現在までに0.34kmを部分供用しており、残区間の供用に向け、整備を図っている。						
施設の構造や工法の変更等						
沿線住民等を対象にワークショップを開催し、街路樹や歩道ブロックの色彩などを選定した。						
対応方針 事業継続						
対応方針決定の理由						
以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。						
事業概要図						